

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上

(1) 医療需要の変化、医療の高度化への対応

中期目標	医療需要の変化、医療の高度化に的確に対応した医療が提供できるよう、医療スタッフの知識の習得や技術の向上、診療科の再編などによる診療体制の充実を図るとともに、医療機器の整備・更新等を計画的に進めること。													
中期計画	2 医療の質の向上 (1) 医療需要の変化、医療の高度化への対応 医療需要の変化、医療の高度化に的確に対応した医療が提供できるよう、医療スタッフの知識の習得や技術の向上、診療科の再編、医療機器の整備・更新等を進めます。 ア 医療スタッフの知識の習得や技術の向上 先進事例の調査や院内研修の充実、各種学会・研修会への参加促進等により、医療スタッフの知識の習得や技術の向上を図ります。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】

- 医療スタッフが日々高度化する医療知識及び技術を身に付けていくため、がん研修会やがんセミナー、基礎看護技術研修会、臨床検査研修会など専門分野に関する研修会、多職種を対象とした感染対策研修会、リスクマネジメント研修会等を開催した。
- 業務に関わる院外の学会や研修会等へ、公費での参加機会の確保に努めた。
- 法人の新規採用者全員に対して、職場への円滑な適応を図るため、職員倫理・人権問題・メンタルヘルスなど、社会人として必要な心構えについて研修を行った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上

(1) 医療需要の変化、医療の高度化への対応

中期目標	医療需要の変化、医療の高度化に的確に対応した医療が提供できるよう、医療スタッフの知識の習得や技術の向上、診療科の再編などによる診療体制の充実を図るとともに、医療機器の整備・更新等を計画的に進めること。													
中期計画	2 医療の質の向上 (1) 医療需要の変化、医療の高度化への対応 医療需要の変化、医療の高度化に的確に対応した医療が提供できるよう、医療スタッフの知識の習得や技術の向上、診療科の再編、医療機器の整備・更新等を進めます。 ア 医療スタッフの知識の習得や技術の向上 先進事例の調査や院内研修の充実、各種学会・研修会への参加促進等により、医療スタッフの知識の習得や技術の向上を図ります。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】

- 医療スタッフが日々高度化する医療知識及び技術を身に付けていくため、がん研修会やがんセミナー、基礎看護技術研修会、臨床検査研修会など専門分野に関する研修会、多職種を対象とした感染対策研修会、リスクマネジメント研修会等を開催した。
- 業務に関わる院外の学会や研修会等へ、公費での参加機会の確保に努めた。
- 法人の新規採用者全員に対して、職場への円滑な適応を図るため、職員倫理・人権問題・メンタルヘルスなど、社会人として必要な心構えについて研修を行った。

中期計画	イ 資格取得の促進 専門資格を取得しやすい環境を整備し、認定看護師等の拡大に取り組みます。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】	○ 専門教育を受けるために必要な費用等を法人が負担し認定看護師等の資格取得を促進した。	関連指標 <参考実績> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>認定看護師等数 (平成29年度末時点)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>認定看護師 27名</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>認定看護師 18名 特定行為研修修了者 1名</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>認定看護師 7名</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>認定看護師 4名 療法士 2名</td></tr> </tbody> </table>	区分	認定看護師等数 (平成29年度末時点)	広島市民病院	認定看護師 27名	安佐市民病院	認定看護師 18名 特定行為研修修了者 1名	舟入市民病院	認定看護師 7名	リハビリテーション病院	認定看護師 4名 療法士 2名
区分	認定看護師等数 (平成29年度末時点)											
広島市民病院	認定看護師 27名											
安佐市民病院	認定看護師 18名 特定行為研修修了者 1名											
舟入市民病院	認定看護師 7名											
リハビリテーション病院	認定看護師 4名 療法士 2名											

中期計画	ウ 診療体制の充実 今後の疾病動向や患者ニーズの変化、医療の高度化に対応し、適時に診療科の再編を行うなど診療体制の充実を図ります。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】
○ 疾病動向や患者ニーズの変化等に対応するため、各病院において診療科の新設、再編などを行った。
○ 広島市民病院においては、早期リハビリテーションの強化を図るため、医療スタッフの増員を行うとともに、新たに日曜日もリハビリテーションを行うようにした。

中期計画	工 医療水準の維持向上につながる医療機器の整備・更新 医療需要の変化や医療の高度化に対応し、各病院の医療水準の維持、向上につながる医療機器の計画的な整備・更新を行います。	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 病院の医療水準の維持及び向上につながる医療機器の計画的な整備・更新を行った。
 広島市民病院（磁気共鳴断層撮影装置（MR I）の更新、高精度放射線治療システム（リニアック）の更新など）
 安佐市民病院（内視鏡下手術用ロボット「ダヴィンチ」の導入、全身用マルチスライスCTシステムの更新など）

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上

(2) 医療の標準化の推進

中期目標	良質な医療を効率的かつ安全、適正に提供するため、クリニカルパス（疾病別に退院までの治療内容を標準化した計画書）の活用の拡大を図ること。																					
中期計画	<p>2 医療の質の向上 (2) 医療の標準化の推進</p> <p>クリニカルパス（疾病別に退院までの治療内容を標準化した計画書）の活用を拡大するとともに、既存のクリニカルパスを適時に見直し、良質な医療を効率的かつ安全、適正に提供します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【目標値】クリニカルパス適用率 (単位: %)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>50.9</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>50.6</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>44.9</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>—</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※適用率は、新入院患者のうちクリニカルパスを適用した患者の割合</p>				【目標値】クリニカルパス適用率 (単位: %)			区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院	50.9	55.0	安佐市民病院	50.6	55.0	舟入市民病院	44.9	50.0	リハビリテーション病院	—	50.0
【目標値】クリニカルパス適用率 (単位: %)																						
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																				
広島市民病院	50.9	55.0																				
安佐市民病院	50.6	55.0																				
舟入市民病院	44.9	50.0																				
リハビリテーション病院	—	50.0																				

【主な取組】

- 各病院とも、院内のクリニカルパス委員会において、クリニカルパスの活用拡大に努めた。

関連指標

<目標値に対する実績>

(クリニカルパス適用率)

(単位: %)

区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
広島市民病院	53.3	50.0	49.9	51.9
安佐市民病院	52.0	51.7	51.0	50.0
舟入市民病院	37.7	29.0	38.9	54.2
リハビリテーション病院	64.2	64.1	62.5	59.9

※適用率は、新入院患者のうちクリニカルパスを適用した患者の割合

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上

(3) チーム医療の推進

中期目標	診断技術や治療の多様化・複雑化に対応するため、医療スタッフが、診療科や職種を越えて連携し、それぞれの専門性を生かし、質の高い医療の提供を推進すること。
中期計画	<p>2 医療の質の向上 (3) チーム医療の推進</p> <p>個々の患者の病状や、緩和ケア、褥瘡対策、呼吸ケア、栄養サポート等の課題に対応するため、医療スタッフが診療科や職種を越えて連携し、専門的、総合的な医療を提供するチーム医療を推進します。</p>

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 各病院では、緩和ケア、褥瘡対策、呼吸ケア、栄養サポート等の課題に対応するため、医療スタッフが、診療科や職種を越えて連携し、専門的、総合的なチーム医療を提供した。

[平成29年度の状況]

広島市民病院：緩和ケアチーム、栄養サポートチーム（N S T）、褥瘡対策部会、摂食・嚥下・口腔ケア部会（S E Kチーム）、転倒・転落予防対策チーム、呼吸リハビリチーム（R S T）、通院治療センターのチーム医療、せん妄対策部会、在宅療養支援部会、周産期トータルサポートチーム、子ども虐待防止委員会

安佐市民病院：院内感染対策チーム、災害対策チーム、医療安全対策チーム、救急総合診療トリアージチーム、褥瘡対策チーム、栄養サポートチーム（N S T）、摂食・嚥下チーム、緩和ケアチーム、呼吸サポートチーム、心不全サポートチーム、糖尿病チーム、高齢者総合支援チーム、肝臓チーム、排尿ケアチーム

舟入市民病院：栄養サポートチーム（N S T）、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、摂食・嚥下チーム

リハビリーション病院：栄養サポートチーム（N S T）、摂食・嚥下チーム、褥瘡対策チーム、感染対策チーム、リスクマネジメントチーム（転倒転落対策チーム、薬剤対策チーム、その他の事例対策チーム）、離床促進チーム、患者サービス向上チーム

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上

(4) 医療の安全確保の徹底

中期目標	市民に信頼される安全な医療を提供するため、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象に関する情報収集・分析を行い、適切な予防策を講じること。
中期計画	<p>2 医療の質の向上 (4) 医療の安全確保の徹底</p> <p>市民に信頼される安全な医療を提供するため、適切な予防策を講じます。</p> <p>ア 医療安全管理体制の強化</p> <p>医療安全管理者や各部門のリスク責任者などで構成する医療安全管理委員会を中心となり、医療事故につながりかねないヒヤリ・ハット事例などの関連情報の収集・分析、医療事故の発生防止や発生時の対応等のマニュアル作成、院内研修などをを行い、医療の安全確保に取り組みます。</p>

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 広島市民病院及び安佐市民病院では医療支援センター医療安全対策室に、舟入市民病院及びリハビリテーション病院では医療支援室に、それぞれ専従の医療安全管理者等を配置し、医療安全管理を行った。
- 各病院とも、事例検討会や、ワーキンググループ活動で、事例の改善策の検討や医療安全関連マニュアルガイドライン等の見直し、整備を行った。
- 各病院とも各部署に、リスクマネジャーを配置し、インシデント・アクシデント報告を取りまとめ、各職種で構成される委員会に毎月報告するとともに、毎月部長会などで報告し院内への周知及び情報の共有化を図った。

中期計画	イ 院内感染の防止 感染管理認定看護師などで構成する感染対策委員会が中心となり、感染症に関する情報収集、院内の調査・監視、職員への院内感染予防指導、意識啓発を実施し、院内感染対策に取り組みます。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 院内に、病院長をはじめ、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等、各部門の代表者による院内感染症対策委員会を設置し、報告、情報提供、対策の検討及び審議を行った。 ○ 院内感染対策チームの主要スタッフが定期的に院内をラウンドし、各部署の点検及び指摘を行うとともに、院内への周知を図り、必要に応じてマニュアル等の見直しを行った。また、感染症に対応する専門チームを設置し、一刻を争う感染症の予防・拡大防止に迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。 ○ 各病院において、全職員を対象とした院内感染の予防に関する研修会を行った。 	
--	--

中期計画	ウ 迷惑患者対策の実施 一部の患者等による病院職員に対する暴言や暴力は、直接的な被害だけでなく、業務の妨げや他の患者等の迷惑となることから、専門職員を配置し、迷惑患者対策に取り組みます。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市民病院及び安佐市民病院では、迷惑患者等に対応するため、保安員を配置し、院内の秩序維持に取り組んだ。 ○ 舟入市民病院では、暴言暴力防止のための警告ポスターを院内に掲示するとともに、緊急時には速やかに職員が駆けつける等の体制を整えている。 ○ リハビリテーション病院では、所轄警察署及び広島市市民局市民安全推進課の協力を得て防犯訓練を実施するとともに、トラブル対応及び法的な整理、考え方などについての研修を実施した。 	
--	--

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上

(5) 医療に関する調査・研究の実施

中期目標	高度で先進的な医療の提供及び地域の医療水準の向上を図るため、職員の自主的な研究活動を支援するとともに、研究成果の情報発信に努めること。また、治験に積極的に取り組むこと。
中期計画	<p>2 医療の質の向上 (5) 医療に関する調査・研究の実施 職員の自主的な研究活動を支援するとともに、研究成果の情報発信に努めます。また、治験等の推進に取り組みます。</p> <p>ア 職員の自主的な研究活動の支援と研究成果の発信 職員が意欲的に自主的な研究活動に取り組める環境整備を行うとともに、研究成果を積極的に発表する場を設け、情報発信に努めます。</p>

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 職員の優秀な論文や経営改善アイディアに対しては、理事長が表彰し、自主的な研究活動の促進を図った。
- 職員の自主的な研究の成果を発表する場として、院内機関誌の発行（広島市民病院「医誌」、安佐市民病院「業績集」）や学会での発表に配慮した勤務シフトの見直しなどを行った。舟入市民病院では、院内において自主的な研究活動の発表会を実施した。リハビリテーション病院では、学会発表や論文発表などを取りまとめた年報を作成し、院内において自主的な研究活動の発表会を実施した。
- 各病院において、職員向けにインターネットによる文献検索サイトや国内外の医療雑誌を収録した電子ジャーナル及び研修医向け臨床医学情報サイトを閲覧できる環境を整えた。

中期計画	イ 治験等臨床研究の推進 医薬品等の治療効果や安全性を高めるために行われる治験等の臨床研究に、積極的に取り組みます。実施に当たっては、患者の意見を尊重するとともに、治験審査委員会等による事前・事後の管理監督を徹底し、安全性や手続の公正性を確保します。	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】	関連指標																								
	<参考実績> (治験新規件数)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>平成25年度</th><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>18件</td><td>20件</td><td>21件</td><td>20件</td><td>17件</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>3件</td><td>—</td><td>1件</td><td>1件</td><td>1件</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>1件</td><td>2件</td><td>2件</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	広島市民病院	18件	20件	21件	20件	17件	安佐市民病院	3件	—	1件	1件	1件	舟入市民病院	1件	2件	2件	—	—
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																				
広島市民病院	18件	20件	21件	20件	17件																				
安佐市民病院	3件	—	1件	1件	1件																				
舟入市民病院	1件	2件	2件	—	—																				

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者の視点に立った医療の提供

(1) 病院情報の提供

中期目標	ア 診療内容や治療実績など、患者等が病院を選択する上で必要な情報や、病院の現状や地域の医療機関との役割分担に係る市民の理解を促進する情報を積極的に提供すること。 イ 病院の運営内容や経営状況について、市民に分かりやすく情報発信すること。とりわけ、第1期中期目標期間中においては、法人化の目的や効果について、市民への周知を図ること。
中期計画	3 患者の視点に立った医療の提供 (1) 病院情報の提供 <ul style="list-style-type: none">・市立病院機構のホームページを新たに設けるとともに、各病院のホームページの充実を図るなど、多様な媒体を活用し、分かりやすい情報発信に努めます。・各診療科の特色や治療実績など患者等が病院を選択する上で必要な情報や、病院の現状や地域の医療機関との役割分担について市民の理解を促すための情報を、積極的に提供します。・病院経営の透明性を高めるため、病院の運営、財務に関する計画や実績等について、市民に分かりやすい形で公表します。特に、この計画期間中は、地方独立行政法人化の目的や効果について、積極的に広報します。・情報の内容等に応じ、広島市の広報媒体や医師会等の関係団体、マスコミ等を通じた広報にも取り組みます。

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 法人化に伴い、市立病院機構独自のホームページを作成し、法人の基本理念や基本方針、中期計画、年度計画などを公表するとともに、法人化の目的や期待される効果などについても周知を図った。また、財務諸表、事業報告書等を市立病院機構のホームページに掲載した。
- 広島市民病院、安佐市民病院、舟入市民病院及びリハビリテーション病院のホームページについても、法人化を機に病院利用者にとって分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、全面的なリニューアルを行った。
- 患者等が病院を選択する上で必要となる各診療科の特色や治療実績などの情報を病院ごとにホームページ等で提供した。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- 3 患者の視点に立った医療の提供
 - (2) 法令・行動規範の遵守

中期目標	市立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令はもとより行動規範を遵守し、適正な病院運営を行うこと。 また、個人情報保護及び情報公開に関しては、本市条例等に基づき適切に対処すること。			
中期計画	3 患者の視点に立った医療の提供 (2) 法令・行動規範の遵守 ア 行動規範の確立と徹底 医療法をはじめとする関係法令及び行動規範の遵守について、研修等により職員に徹底し、適正な病院運営に取り組みます。			

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	2	2	3

【主な取組】

- 新規採用職員については、服務規律に関する法人の規程を説明するほか、過去の処分事例を紹介するなどの研修を行った。
- 各病院において職員倫理研修を行い、服務規律の徹底を図った。

中期計画	イ 適正な個人情報の保護と情報の公表・開示 広島市個人情報保護条例及び広島市情報公開条例の実施機関として、個人情報を適正に取り扱うとともに、患者等への情報開示を適正に行います。			
------	---	--	--	--

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 個人情報管理及びその開示等については、広島市個人情報保護条例及び広島市情報公開条例等に基づき、適切な運用を図った。

中期計画	<p>ウ 病院内規程等の点検・見直し</p> <p>各病院の実態に応じて運用している病院内の規程やマニュアル等について、常に点検し、見直しを行います。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 各病院において、医療安全マニュアル、感染対策マニュアル、入院時説明文書、個人情報保護指針、消防防災計画など、隨時、病院内の規程・マニュアル等の点検及び見直しを行った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者の視点に立った医療の提供

(3) 患者等への適切な医療情報の提供、説明

中期目標	<p>ア 患者の権利を尊重し、信頼と満足を得られる医療を提供するため、インフォームド・コンセント（患者自身が医療内容を理解・納得し、自分に合った治療法を選択できるよう、患者に十分な説明を行った上で同意を得ること。）を徹底すること。</p> <p>イ 他の医療機関の患者等が、診断や治療方針の理解を深め、患者に合った診療を選択するため、セカンドオピニオン（診断や治療方針について主治医以外の医師から意見を聞くこと。）を実施すること。</p>
中期計画	<p>3 患者の視点に立った医療の提供 (3) 患者等への適切な医療情報の提供、説明 ア インフォームド・コンセントの徹底 インフォームド・コンセント（患者自身が医療内容を理解・納得し、自分に合った治療法を選択できるよう、患者に十分な説明を行った上で同意を得ること。）を徹底し、患者の権利を尊重し、信頼と満足を得られる医療を提供します。</p>

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 各病院において、治療方法の決定に当たっては、インフォームド・コンセントを徹底し、患者の権利を尊重し、信頼と満足の得られる医療を提供した。
- ホームページに患者の権利として、診療に関して十分な説明と情報提供を受ける権利があることを掲載するなど、患者への周知を図った。

中期計画	<p>イ セカンドオピニオンの実施 セカンドオピニオン（診断や治療方針について主治医以外の医師から意見を聞くこと。）を実施するとともに、市立病院の患者が、他の医療機関でのセカンドオピニオンを希望する場合には、適切に支援します。</p>								
	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度						
3	3	3	3						

【主な取組】

- 各病院において、セカンドオピニオンを自由に依頼することができる旨を院内に掲示するとともに、ホームページにも掲載し、患者への周知を図った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者の視点に立った医療の提供

(4) 相談機能の強化

中期目標	安心して医療を受けることができるよう、疾病や治療に関する不安や、医療費の負担等の生活上の問題、退院後の療養や介護支援など、患者やその家族が抱える様々な相談に積極的に対応すること。
中期計画	3 患者の視点に立った医療の提供 (4) 相談機能の強化 専門職員の増員等により、医療支援センター等の相談支援体制を強化し、疾病や治療に関する相談をはじめ、医療費の負担等の生活上の問題、退院後の療養や介護支援など、患者やその家族が抱える様々な相談に積極的に対応します。

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	4	3

【主な取組】

- 広島市民病院及び安佐市民病院の医療支援センターについては、医療相談員（MSW）を増員し、体制の強化を図った。
- 舟入市民病院及びリハビリテーション病院では、平成26年度に新たに医療支援室を設置し、医療相談員（MSW）の増員などにより相談支援体制の強化を図った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- 3 患者の視点に立った医療の提供
(5) 患者サービスの向上

中期目標	常に患者やその家族の立場を考え、温かく心のこもった応対ができるよう、職員の接遇の一層の向上を図ること。また、患者等のニーズを的確に捉え、療養環境の改善や待ち時間等の短縮などに取り組むとともに、よりきめ細やかなサービスの提供に努めること。
中期計画	3 患者の視点に立った医療の提供 (5) 患者サービスの向上 ア 接遇・応対研修の充実 接遇研修等を充実し、常に患者やその家族の立場に立ち、誠意を持った応対に取り組みます。

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 各病院とも、接遇研修会の開催や接遇の基本チェックなど接遇対応能力の向上に取り組んだ。

中期計画	<p>イ 患者・家族ニーズの把握と病院運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的なアンケート調査などにより、患者やその家族のニーズの把握に努め、病院運営の見直しに取り組みます。 外来の診察・検査・会計の待ち時間の短縮に向けた改善方策の検討を行い、可能な取組から実施します。 病院給食について、個々の入院患者の病状や体質に配慮しながらも、おいしい給食となるよう、改善に取り組みます。 <p>【目標値】患者満足度 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>平成24年度実績</th><th>平成29年度目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>88.5</td><td>90.0</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>80.0</td><td>90.0</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>80.2</td><td>90.0</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>94.8</td><td>95.0</td></tr> </tbody> </table> <p>※病院の対応に「満足」と回答した利用者の割合</p>	区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院	88.5	90.0	安佐市民病院	80.0	90.0	舟入市民病院	80.2	90.0	リハビリテーション病院	94.8	95.0	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	4	3	2	2
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																							
広島市民病院	88.5	90.0																							
安佐市民病院	80.0	90.0																							
舟入市民病院	80.2	90.0																							
リハビリテーション病院	94.8	95.0																							
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																						
4	3	2	2																						

中期計画	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院とも、病院利用者から、職員の対応・態度、施設環境、待ち時間等についてアンケート調査を実施し、必要な見直し及び改善に取り組んだ。 各病院とも、医療支援室を通じた事前予約や、トリアージを行うことなどにより、外来の待ち時間の短縮に向けた取組を行った。 各病院とも、病院給食についてのアンケート調査を行い、献立等給食内容について委託業者と定期的に協議し、日常的に見直し及び改善に取り組んだ。 	<p>関連指標</p> <p><目標値に対する実績></p> <p>患者満足度 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>平成26年度 実績</th><th>平成27年度 実績</th><th>平成28年度 実績</th><th>平成29年度 実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>91.6</td><td>89.5</td><td>90.9</td><td>83.1</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>90.1</td><td>86.0</td><td>82.7</td><td>74.3</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>83.8</td><td>73.8</td><td>76.8</td><td>79.5</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>95.0</td><td>96.2</td><td>96.1</td><td>96.6</td></tr> </tbody> </table> <p>※病院の対応に「満足」と回答した利用者の割合</p>	区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	広島市民病院	91.6	89.5	90.9	83.1	安佐市民病院	90.1	86.0	82.7	74.3	舟入市民病院	83.8	73.8	76.8	79.5	リハビリテーション病院	95.0	96.2	96.1	96.6
区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績																							
広島市民病院	91.6	89.5	90.9	83.1																							
安佐市民病院	90.1	86.0	82.7	74.3																							
舟入市民病院	83.8	73.8	76.8	79.5																							
リハビリテーション病院	95.0	96.2	96.1	96.6																							

中期計画	<p>ウ 入院手続の集約化</p> <p>入院手続や術前検査予約等が一箇所でスムーズに行うことができる入院センターの開設など、入院患者の利便性の向上を図ります。</p>	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	4	4	4	4
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
4	4	4	4							

中期計画	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島市民病院では、平成27年8月に入院支援室を設置し、平成29年度には対応診療科を12科から14科に拡大するとともに、平成30年3月には対応ブースを16に増設し、全診療科の予定入院患者に対応できるよう整備し、入院患者の利便性の向上を図った。 安佐市民病院では、平成28年4月に入院支援センターを開設し、産婦人科、小児科及び精神科を除く全ての科を対応診療科としたが、平成29年度からは産婦人科のうちの婦人科についても対応診療科とし、入院患者の利便性の向上を図った。 	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	4	4	4	4
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
4	4	4	4							

中期計画	工 療養環境の改善	<p>・患者等病院利用者がより快適に過ごせるよう、病室、待合スペース、売店、食堂、喫茶の改善など療養環境の改善に努めます。</p> <p>・ボランティアの協力も得ながら、院内の案内、車椅子の介助など、患者サービスの向上に取り組みます。また、デジタルサイネージ等 I C T を活用し、分かりやすい案内表示に努めます。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			3	3	3	3

【主な取組】

- 患者満足度アンケート調査の中で療養環境についての調査も行い、広島市民病院では 24 時間営業のコンビニエンスストアを導入し、安佐市民病院では売店をコンビニエンスストアに変更し、舟入市民病院では多目的トイレを設置するなど、療養環境の改善に取り組んだ。
- 各病院とも、ボランティアを積極的に受け入れ、患者サービスの向上を図った。
- 各病院とも、案内表示を点検し、追加設置などの見直しを行った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 地域の医療機関等との連携

(1) 地域の医療機関との役割分担と連携

<p>中期目標</p> <p>地域の医療機関との適切な役割分担の下、紹介患者の受入れ・患者の紹介を積極的に行うなど、地域の医療機関との連携を図ること。また、地域連携クリニカルパス（治療を行う複数の医療機関が治療方針を共有するための診療計画書）を作成・運用し、他の医療機関との連携により、一貫性のある医療を提供すること。</p>	<p>4 地域の医療機関等との連携 職員の増員等により、地域の医療機関等との連携を推進する医療支援センター等の体制を強化します。 (1) 地域の医療機関との役割分担と連携 ア 病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介の促進等 地域の医療機関や医師会との連携を強化し、地域の医療機関との適切な役割分担の下、紹介患者の受入れ、患者の紹介を積極的に行い、より多くの患者に必要とされる医療を提供する体制の維持に努めます。</p> <p>【目標値】患者紹介率（地域の医療機関から市立病院への紹介） (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>62.7</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>66.8</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>21.3</td> <td>28.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※紹介率＝（紹介患者の数+救急患者の数）／初診患者の数×100</p> <p>【目標値】患者逆紹介率（市立病院から地域の医療機関への紹介） (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>79.1</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>102.4</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>19.2</td> <td>23.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※逆紹介率＝逆紹介患者の数／初診患者の数×100 ※当該年度の逆紹介患者の数には、当該年度以前からの診療期間の長い患者も含まれるため、当該年度の初診患者の数を上回り、逆紹介率が100%を超える場合がある。</p>	区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院	62.7	65.0	安佐市民病院	66.8	70.0	舟入市民病院	21.3	28.0	区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院	79.1	90.0	安佐市民病院	102.4	100.0	舟入市民病院	19.2	23.0	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																																
広島市民病院	62.7	65.0																																
安佐市民病院	66.8	70.0																																
舟入市民病院	21.3	28.0																																
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																																
広島市民病院	79.1	90.0																																
安佐市民病院	102.4	100.0																																
舟入市民病院	19.2	23.0																																
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																															
3	3	3	3																															

【主な取組】

- 地域の医療機関からのスムーズな患者の受入れ並びに退院後の地域の医療機関への紹介及び生活支援に取り組むため、医療支援室等の体制を強化した。
- 各病院とも、地区医師会との交流及び意見交換の場を通じて連携を強化した。
- 舟入市民病院においては、平成27年度途中から地域包括ケア病床（6階病棟のうち10床）の導入・運用開始に伴い、開業医への訪問（面会）を行うなど、積極的に連携づくりを行い、高齢者の生活支援に取り組んだ。

関連指標

<目標値に対する実績>

患者紹介率（地域の医療機関から市立病院への紹介） (単位：%)					
区分	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
広島市民病院	65.5	61.2	68.4	76.8	78.4
安佐市民病院	70.8	77.6	77.3	80.2	85.2
舟入市民病院	23.6	22.1	25.0	25.6	26.6

※紹介率＝（紹介患者の数+救急患者の数）／初診患者の数×100

- リハビリテーション病院では、地域における在宅医療・介護の連携推進を図るため、安佐医師会、安佐南区役所厚生部健康長寿課、医療機関、地域包括支援センター、介護サービス事業所等で構成する安佐南区地域包括エリア毎在宅医療連携推進会議に参加した。

<目標値に対する実績>

患者逆紹介率（市立病院から地域の医療機関への紹介）

(単位：%)

区分	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
広島市民病院	79.5	82.0	83.2	88.4	89.2
安佐市民病院	110.1	137.0	122.7	139.0	130.9
舟入市民病院	18.3	19.5	19.4	21.3	19.3

※逆紹介率=逆紹介患者の数／初診患者の数×100

中期計画	イ 地域連携クリニカルパスの運用拡大 一貫性のある医療を提供し、治療効果の一層の向上を図るために、地域連携クリニカルパス（治療を行う複数の医療機関が治療方針を共有するための診療計画書）の作成・運用の拡大に取り組みます。	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
3	3	3	3		

【主な取組】

- 各病院とも、地域連携クリニカルパスの作成・運用の拡大に努めた。

関連指標

<参考実績>

(地域連携クリニカルパスの種類及び適用件数)

(各年度3月末現在 単位：件)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	種類件数	適用件数	種類件数	適用件数	種類件数	適用件数	種類件数	適用件数
広島市民病院	9	503	10	513	10	546	10	448
安佐市民病院	10	521	10	505	11	519	11	461
リハビリテーション病院	2	134	2	145	2	131	2	148

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- 4 地域の医療機関等との連携
(2) 地域の医療機関への支援

中期目標	市立病院が保有する高度医療機器の共同利用などにより、地域の医療機関を支援すること。また、地域の医療従事者を対象としたオープンカンファレンス等各種研修会の開催などにより、地域の医療人材の育成に努めること。													
中期計画	4 地域の医療機関等との連携 (2) 地域の医療機関への支援 ア 高度医療機器の共同利用、開放型病床の利用の促進 市立病院が保有する高度医療機器の共同利用や開放型病床の利用を促進し、地域の医療水準の向上を図ります。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】

- 地域の医療水準の向上を図るため、地域の医療機関と高度医療機器の共同利用を行うとともに、開放型病床（広島市民病院が34床、安佐市民病院が9床）の活用の促進を図った。

中期計画	<p>イ オープンカンファレンス等の実施</p> <p>地域の医療従事者を対象としたオープンカンファレンス等各種研修会等を開催し、市立病院における症例や医療技術等の医療情報を提供することなどにより、地域の医療人材の育成を図るとともに、「顔の見える連携関係」を構築します。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 以下のとおり各病院において、研修会等及びオープンカンファレンスを開催した。
- 各病院の扱った症例と施術内容、研究業績等の医療情報は、学会や、各病院のホームページ、病院の発行する広報誌、情報誌で情報提供した。
- 広島市民病院では、国立研究開発法人科学技術振興機構が作成しているインターネット上の文献データベースに「医誌」を登録し、掲載している論文の概要を公開した。

<参考実績>

区分	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	研修会等		オープンカンファレンス		研修会等		オープンカンファレンス		研修会等		オープンカンファレンス		研修会等		オープンカンファレンス	
	回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数												
広島市民病院	13回	1,426人	14回	363人	11回	1,259人	15回	520人	11回	1,478人	19回	802人	10回	1,170人	15回	433人
安佐市民病院	19回	841人	10回	230人	26回	1,095人	10回	233人	21回	850人	10回	235人	21回	949人	8回	165人
舟入市民病院	3回	129人	—	—	1回	49人	—	—	—	—	1回	39人	1回	40人	1回	31人
リハビリテーション病院	6回	94人	1回	43人	4回	154人	1回	48人	4回	188人	1回	69人	3回	114人	—	—
計	41回	2,490人	25回	636人	42回	2,557人	26回	801人	36回	2,516人	31回	1,145人	35回	2,273人	24回	629人

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 地域の医療機関等との連携

(3) 保健機関、福祉機関との連携

中期目標	高齢化の進展等に伴う疾病構造の変化に対応するため、保健所等と連携し、疾病の予防や再発防止に取り組むこと。また、退院後の介護等に対する支援を強化するため、地域包括支援センターや介護サービス事業所等との連携を図ること。													
中期計画	4 地域の医療機関等との連携 (3) 保健機関、福祉機関との連携 ア 保健機関との連携 高齢化の進展等に伴う疾病構造の変化に対応するため、保健所等と連携し、生活習慣病の予防や再発防止等に積極的に取り組みます。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】

- 広島市民病院では、救急医療コントロール機能病院としての運営について、広島市健康福祉局保健部保健医療課（現：広島市健康福祉局保健部医療政策課）と協議し、及び調整するとともに、医師が同課の所管する「広島市がん検診精度管理連絡会議」の委員となっている。
- 安佐市民病院では、保健センター（安佐北区・安佐南区）と精神障害者に係る事例検討会を開催した。
- 舟入市民病院では、広島市が実施する市政出前講座等でスキンケアに関する講習、小児救急に関する講習、感染症に係る講習、緩和ケアに関する講習、医療倫理に関する講習を行った。
- リハビリテーション病院では、市民公開講座において脳卒中・認知症予防に関する講演や体操指導による介護予防等の啓発を行うとともに、広島市が実施する市政出前講座においてリハビリテーション医療の流れや脳卒中のリハビリテーションなどに関する講習や講演を行った。

中期計画	<p>イ 福祉機関との連携</p> <p>福祉事務所や地域包括支援センター、介護サービス事業所等との連携を強化し、患者の退院後の療養や介護などを支援します。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 各病院とも、福祉事務所や地域包括支援センター、介護サービス事業所等の福祉機関と連携し、患者の退院後の療養などの支援を行った。
- 関係機関との連携をよりスムーズに行うため、地域包括支援センター等との情報の交換、交流の場を隨時設けた。特に安佐市民病院では、安佐北区や安佐南区の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、安佐北区役所厚生部健康長寿課及び一般社団法人安佐医師会で構成する地域包括連携会議を設け、地域医療連携マップの作成や研修会の開催等を行うとともに、患者の同意を得た上で、その情報の共有化を図った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

5 市立病院間の連携の強化

(1) 一つの病院群としての病院運営の推進

中期目標	(1) 市立病院は、病院間相互に連携し各病院の医療機能を補完し合い、病院群全体として、広島市の医療施策上必要な医療を提供するとともに、一つの病院群として、各病院の役割の見直しや連携強化などを進めることで、効率的、効果的な病院運営を行うこと。また、広島市が指定管理者制度により運営している安芸市民病院についても、引き続き連携を図ること。													
中期計画	<p>5 市立病院間の連携の強化</p> <p>(1) 一つの病院群としての病院運営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院が相互に連携し、各病院の医療機能を補完し合い、一つの病院群として、広島市の医療施策上必要な医療を提供するとともに、各病院の役割の見直しや連携強化などを進め、効率的、効果的な病院運営を行います。 市立病院の一体感を促進するため、病院間の人事交流を進めます。 同じ職種同士又は職種を越えて、各病院の職員が協議、交流する場づくりを進め、病院間の連携を推進します。 広島市が指定管理者制度により運営している安芸市民病院との連携を図り、患者の受け入れや紹介を積極的に行います。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th> </tr> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】

- 毎月、本部事務局及び各病院の病院長、看護部長・総看護師長、事務長が出席する経営会議を開催し、課題の検討、意思の統一化を図った。また、理事長は、毎月各病院をラウンドし、病院の現状把握及び現場での意見交換を行った。
- リハビリテーション病院では、広島市民病院・安佐市民病院と連携し、両病院から急性期医療を終えた多くの患者を受け入れた。
- 舟入市民病院では、広島市民病院の急性期医療を終えた患者の積極的な受け入れや医師及び医療技術職の派遣をしてもらうなど広島市民病院との連携強化を進めた。
- 広島市民病院は、婦人科、乳腺外科、脳神経外科・脳血管内治療科の医師、診療放射線技師、臨床検査技師を舟入市民病院健康管理センターに派遣し、様々な検査データの読影及び診断を行い、その運営を支援するとともに、職員の適性等を生かし、各病院運営の活性化を図るために、病院間における異動を行った。
- 病院の枠を越えて、採用、職員配置、業務内容等の現状と課題等について、協議、交流及び検討をする場として、各病院の責任者が出席する部門会議（看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、臨床工学技士、栄養士、医療ソーシャルワーカー、診療情報管理士及び事務職）を定期的に開催した。
- 看護部門については、看護総合アドバイザーと各病院の看護部長等が毎月ミーティングを行い、看護部門の現状と課題及びそれへの解決策を協議する場として、看護アドバイザーミーティングを開催した（平成26年度～平成28年度）。
- 安芸市民病院との連携を図るため、同病院からの患者の受け入れや、同病院への患者の紹介を行った。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

5 市立病院間の連携の強化

(2) 病院総合情報システムの更新等

(3) 地域の医療機関との診療情報の共有化の検討

中期目標	(2) 市立病院間で診療情報の円滑な伝達や共有化等を図り、より効率的で質の高い医療を提供するため、病院総合情報システム（電子カルテシステムを中心とした医療情報を電子化して総合的に活用するシステム）の更新に取り組むこと。加えて、地域の医療機関との診療情報の共有化についても検討すること。
中期計画	<p>5 市立病院間の連携の強化 (2) 病院総合情報システムの更新等 広島市民病院及び安佐市民病院で運用している病院総合情報システム（電子カルテシステムを中心とした医療情報を電子化して総合的に活用するシステム）の更新と舟入市民病院への導入等により、4病院間の診療情報の円滑な伝達や共有化を推進します。</p>

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 平成27年度に更新等を実施した4病院の病院総合情報システムにおいて、電子カルテを中心としたシステムの円滑な運用を行うとともに、4病院間の円滑な情報伝達及び共有化を実施した。

中期計画	(3) 地域の医療機関との診療情報の共有化の検討 ひろしま医療情報ネットワーク（診療情報などの医療情報を複数の医療機関で共有するシステム）の利用状況等も踏まえ、地域の医療機関との診療情報の共有化等について検討します。								
	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度						
3	3	3	3						

【主な取組】

- 平成28年11月から病院総合情報システムと同時構築した地域医療連携システムにより市立病院間の連携を実施した。
- 平成29年4月からひろしま医療情報ネットワークに開示病院として参加し、約900の病院、薬局等と連携して診療情報の共有化を実施した。
- 平成29年11月からひろしま医療情報ネットワークを利用して地域医療連携システムにより地域の医療機関と連携した。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

6 保健医療福祉行政への協力

- (1) 広島市が実施する保健医療福祉施策への協力
- (2) 災害等の緊急事態への対応

中期目標	広島市が実施する保健医療福祉施策に協力すること。															
中期計画	<p>6 保健医療福祉行政への協力 (1) 広島市が実施する保健医療福祉施策への協力 これまでどおり、広島市の保健医療福祉を担当する部局との連携を維持し、広島市が実施する保健や医療、福祉施策に積極的に協力します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th> </tr> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	4	3	3
事業年度評価結果（小項目）																
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度													
3	4	3	3													

【主な取組】

- 広島市の保健医療福祉を担当する部局との情報共有及び調整に係る業務について、本部事務局に一元化し、各病院に対して適宜、適切な情報提供を行うとともに、法人内の調整を行った。
- 広島市民病院では、広島市が進める自殺未遂者の自殺再企図防止支援事業に協力するため、医療支援センターにコーディネーターを採用し、自殺再企図防止に努めた。
- 舟入市民病院では、レスパイトケア(重症心身障害児(者) 医療型短期入所事業)を実施し、重度心身障害児(者)の受入れを行った。

中期計画	<p>(2) 災害等の緊急事態への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害その他の緊急時には、広島市地域防災計画等に基づき、市長からの求めに応じて適切に対応するとともに、自らの判断で医療救護活動を行います。 ・食中毒や感染症をはじめとする健康危機事案への対応についても、広島市の保健医療担当部局、消防局等との連携と情報共有を図り、市立病院として求められる医療の提供等を行います。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th> </tr> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>				事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）																
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度													
3	3	3	3													

【主な取組】

- 平成26年8月20日の豪雨災害発生時に、災害発生日から、広島市からの求めに応じて、広島市民病院、安佐市民病院及び舟入市民病院で医療救護班を編成し、日中の避難所の巡回や夜間の避難所への派遣を行った。
- 平成28年熊本地震の際、広島市民病院では平成28年4月27日に、安佐市民病院では同月30日に医療救護班を現地に派遣した。
- 広島市からの食中毒警報などの健康危機事案に関する情報については、本部事務局が窓口となり、各病院へ提供し、情報共有を図った。